



# AccuWare

ver.3.2.1.109

\*ネット環境下での使用を推奨

\*ネット環境は同一ネットワークで使用すること

① PCとプリンターの接続 -----	2p
② アカウント登録	
① SHINING パスポート登録 -----	3p
② エンジニアモードの入力 -----	4p
③ AccuWareとプリンターの接続	
① 設定 -----	5p
② 「情報」アップデート -----	5p
③ 「情報」ライセンスアクティブ -----	6p
④ ライセンスアクティブに入れない場合 -----	7p
⑤ 「手動」AccuWareとプリンターを繋げる設定方法 -----	7p
④ プリンター接続	
① プリント設定 -----	8p
② ネット環境 -----	9p
③ 手動設定 -----	10p
④ 自動設定 / サポート -----	11p
⑤ スライス生成 -----	13p
⑥ プリンターへのデータ移行 -----	13p

## ① PC とプリンターの接続



AccuWare を立ち上げると、左のウィンドウが表示される  
プリンターと PC が同じネットワーク (Wi-fi / LAN) に接続されていると、自動でプリンターと PC を接続する

左の赤枠部分が「インポート済み」なら接続状態

ここに表記がない場合は下部の「次へ」をクリックし、  
次項目の「自動で繋がらない時」を参照する

## 自動で繋がらない時

## AccuWare 側



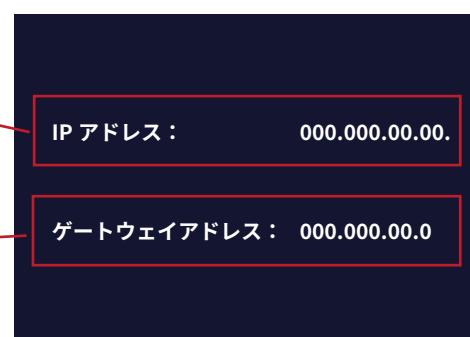
## プリンター側



設定画面から  
ネットワーク設定を選択



設定したネットワークを選択



確認

## ① アカウント登録

## ② アカウント登録

## ① SHINING パスポート登録



ログイン

新規アカウント作成

- ② + 81
- ③ クリックして、検証が始まります。
- ④ 確認コード
- ⑤ パスワード パスワードは数字、大文字、小文字、特殊...む 8 文字以上である必要があります。
- ⑥  内容を読み、同意します [『プライバシーポリシー』](#) [『利用規約』](#)
- ⑦ 次へ

- ① 画面左下のアカウントをクリック  
新規アカウント登録をクリック

② 携帯電話番号を入力

③ クリックして検証を開始する

④ 「確認コードを送信する」をクリック

⑤ 携帯電話に届いた確認コードを入力

パスワードを 2 回入力

**数字 / 大文字 / 小文字 / 特殊記号 (!, #, %, など) を含む 2 文字以上**

⑥  プライバシーポリシーにチェックを入れる

⑦ 「次へ」をクリック

## SHINING パスポート登録後



ユーザー情報

田中太郎

- ① 赤枠のユーザー情報をクリック
- ② エンジニアモードの「ライセンスアクティベーション」をクリック

機関名	--
電話番号	--
Eメール	ivtc hoo.co.jp
エンジニアモード	<input type="button" value="ライセンスアクティベーション"/>

現在のアカウントからログアウトします

## ② エンジニアモードの入力

エンジニアモード

\* 使用予定素材（最小一種記入）

① ブランド	② 素材
ブランド	素材
ブランド	素材
ブランド	素材
ブランド	素材
ブランド	素材

注：ユーザー要請の多い第三者様素材については、公式の無料サポートを提供します。

③ 提出

- ① ブランド：SHINING3D を入力
- ② 素材：DM03 を入力 (\*SHINING3D 社のマテリアルを 1 つ入力)
- ③ 「提出」をクリック

## エンジニアモードの登録確認

エンジニアモード

SUCCESS

エンジニアモード権限が有効になりました

確認

エンジニアモード権限が有効になっているか確認して「確認」をクリック

## ユーザー情報の最終確認

ユーザー情報

田中 太郎

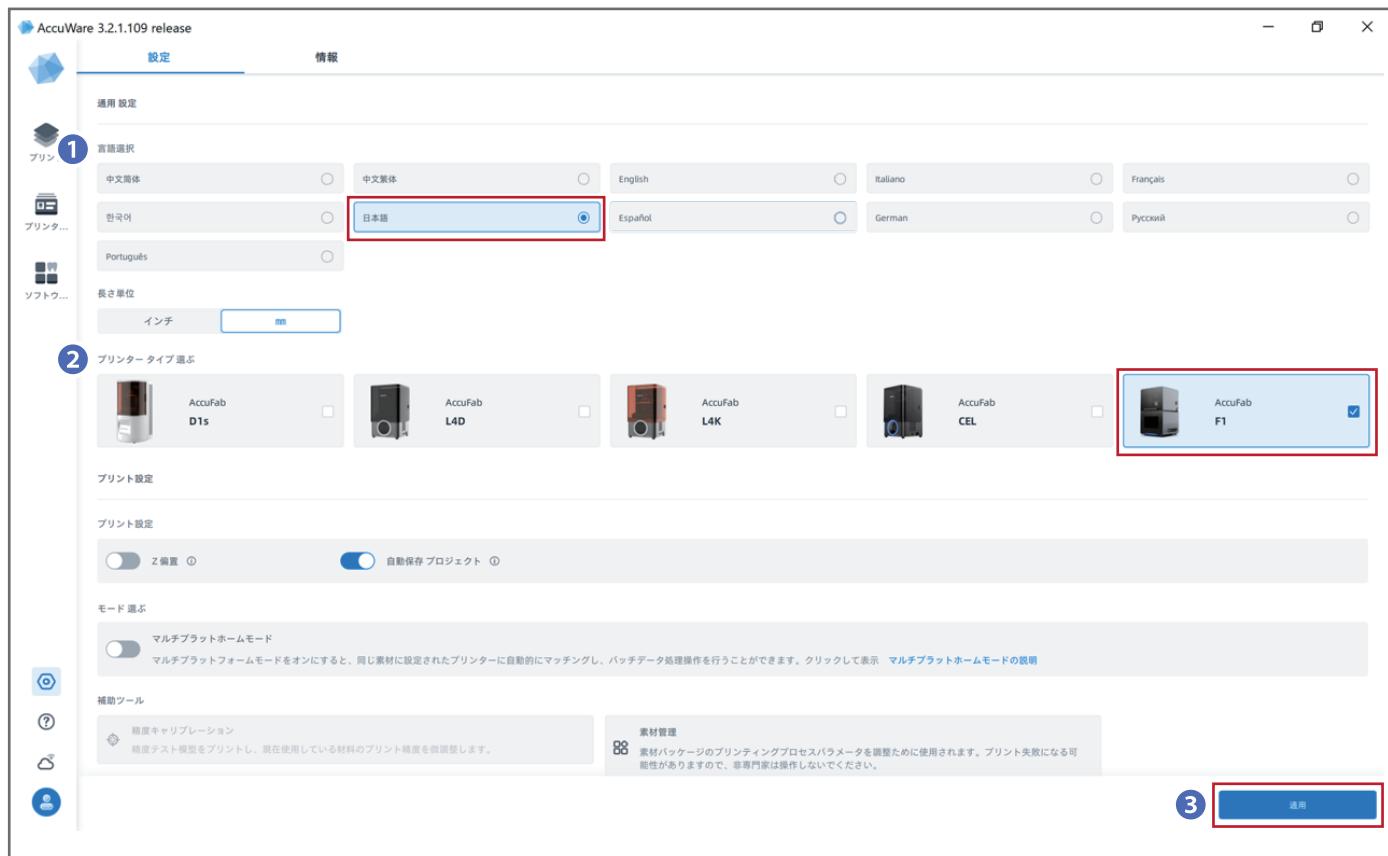
機関名	--
電話番号	--
Eメール	@yahoo.co.jp
④ エンジニアモード (無期限)	ログアウト

現在のアカウントからログアウトします

エンジニアモード（無期限）になっているかを確認

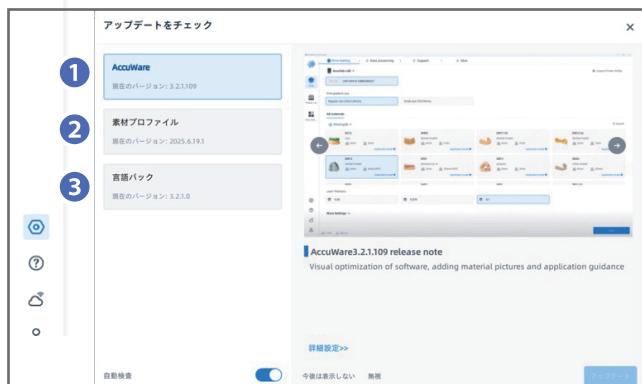
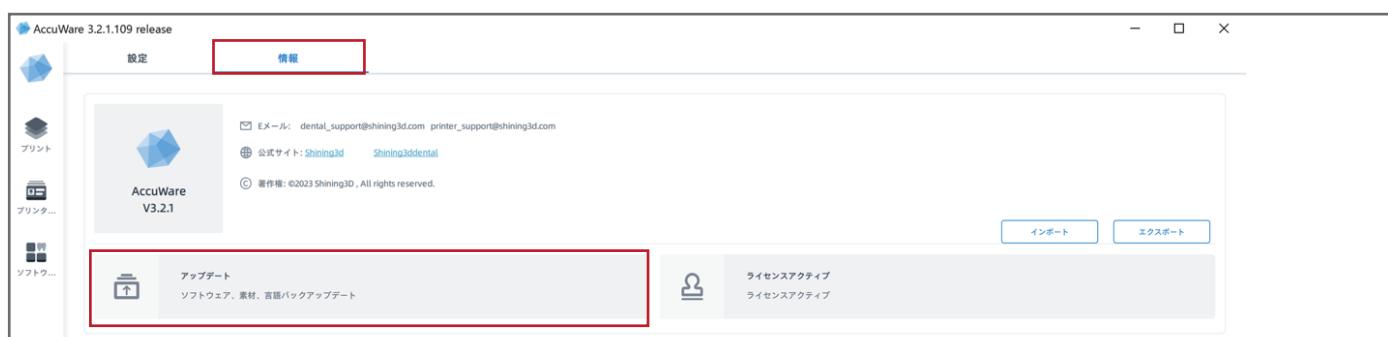
## ② AccuWare とプリンターの接続

## ① 設定



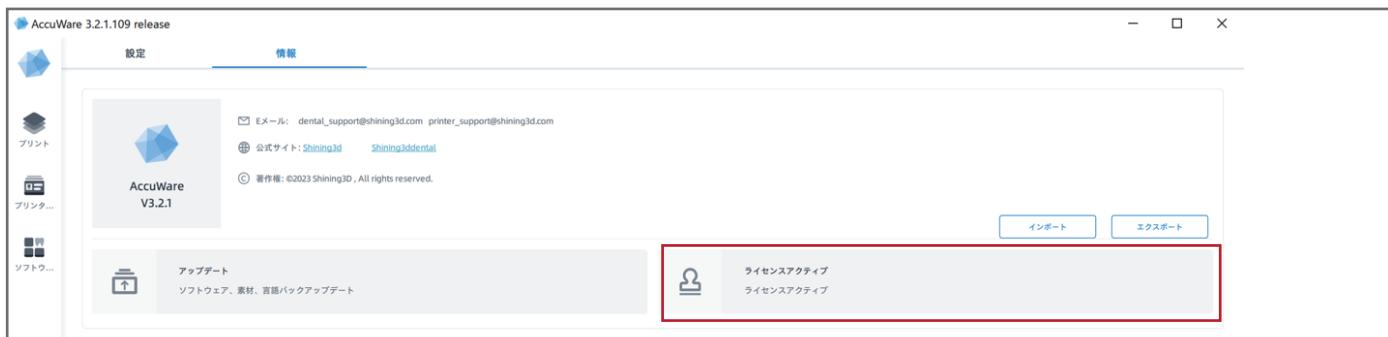
- ① 言語選択：日本語をチェック
- ② 対象プリンターにチェックを入れる
- ③ 適用をクリック

## ② 「情報」 アップデート



- ① ソフトウェアのバージョンアップ
- ② 素材（マテリアル）のバージョンアップ
- ③ 言語のバージョンアップ

## ③「情報」ライセンスアクティブ



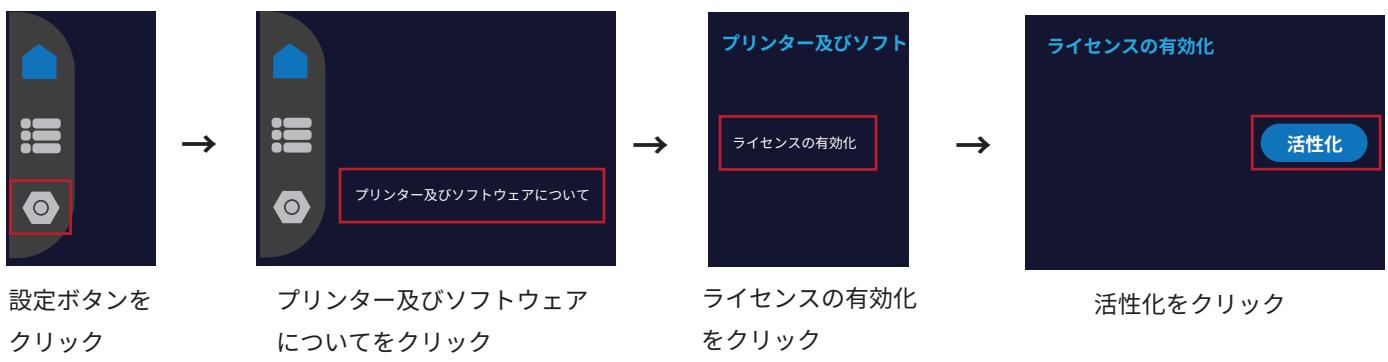
- ① 状態がアクティブ済であるか確認
- ② 残り日数が無期限になっているかを確認  
＊無期限ではない場合は「延期」をクリック

AccuWare とプリンターがネット回線で繋がっていない場合、プリント回数が 10 回までとなり、使用できなくなる

## 【対処方法】

- ③ 添付ファイル ライセンス延期ファイルをダウンロードし、USB に保存する

## プリンター側操作



## ④ ライセンスアクティブに入れない場合



- ① ログインをクリック
- ② ログイン情報を入力してログインをクリック



## ③ プリント機能

## ① プリント設定

1 プリント設定

2 準備 CEL1BP301-GJB004J23

3 レギュラーサイズ (192x120mm)

4 DM12

5 次へ

① プリント設定をクリック

② プリンターを選択

③ マテリアルを選択

1. SS01 / SH01 はスタンダードレジンタンク
2. SS01 HC / SH01 HC はハイパークリアレジンタンク

④ 次へをクリック

\*詳細設定はデフォルトの数値を推奨



洗浄時間



硬化時間 / 硬化温度

マテリアル	デフォルト積層ピッチ		
	0.05	0.1	0.15
DM12	0.05	0.1	
DM12	0.05	0.1	
DM12	0.1		
DM12	0.1	0.15	
DM12	0.1		
DM12	0.1		
DM12	0.05		
DM12	0.1		
DM12	0.1		
DM12	0.075	0.1	
DM12	0.05	0.1	0.15
DM12	0.1		

## ② ネット環境

### AccuWare とプリンターを繋げる設定方法

\*PC 及びプリンターは同一ネットワークで使用すること

\*ネットワーク方法は無線 / 有線 (LAN) どちらでも可

\*ウイルス対策ソフトの設定を解除すること (Norton / McAfee / Avast など)

#### AccuWare 側



- ① プリンタを選択
- ② 全てのデバイスタイプ  
→設定するプリンタを選択
- ③ プリンタを設定すると自動で設定される

#### プリンター側



設定画面から  
ネットワーク設定を選択



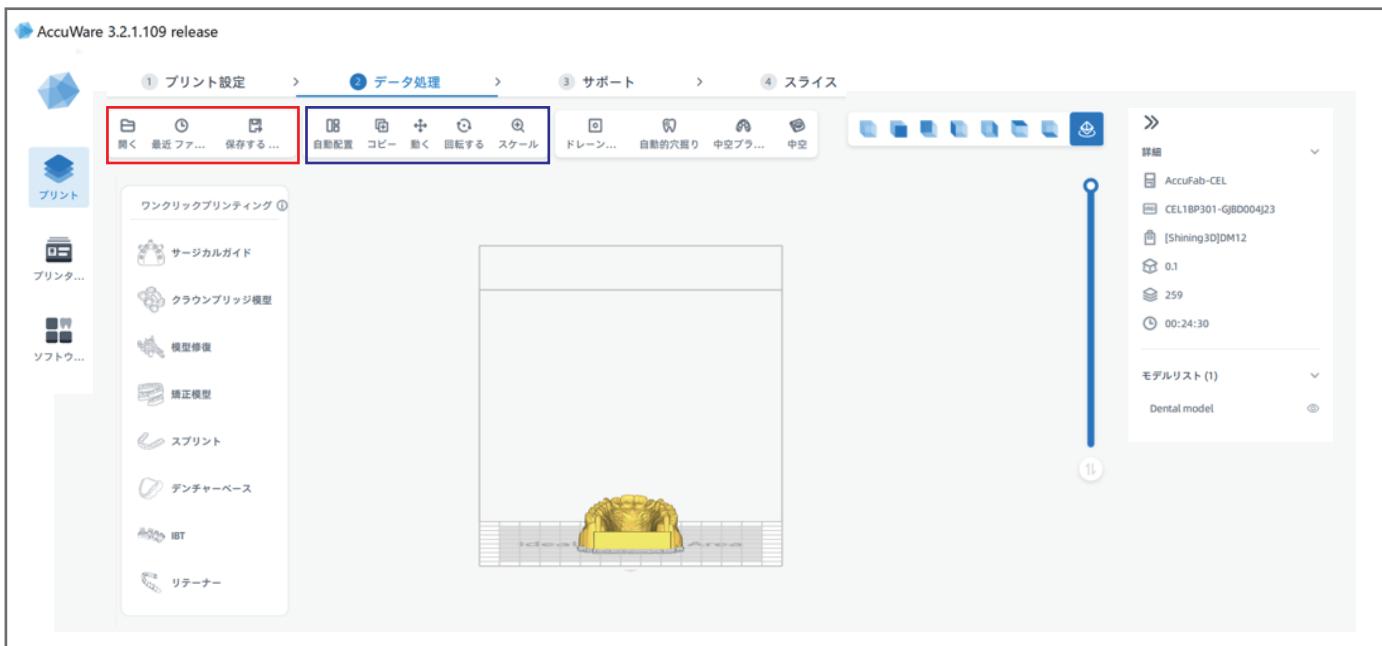
設定したネットワーク  
の種類を選択



#### 接続後の画面



## ③ 手動設定



STL データを選択

過去のファイルを選択

スライス (演算) データ保存

選択されたデータを最適な位置に自動で配置

選択されたデータの複製

配置されたデータの移動（上下左右）

配置されたデータの角度を変更

配置されたデータの大きさを変更



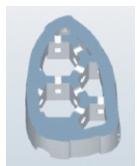
「手動」レジンの排出やアルコール清掃性のためのドレンホール作成



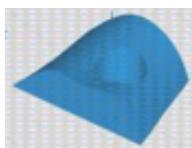
ホール間の幅は調整可能



製作物の下部 / 内面の構造の設定



歯肉構造を中空にしたい時

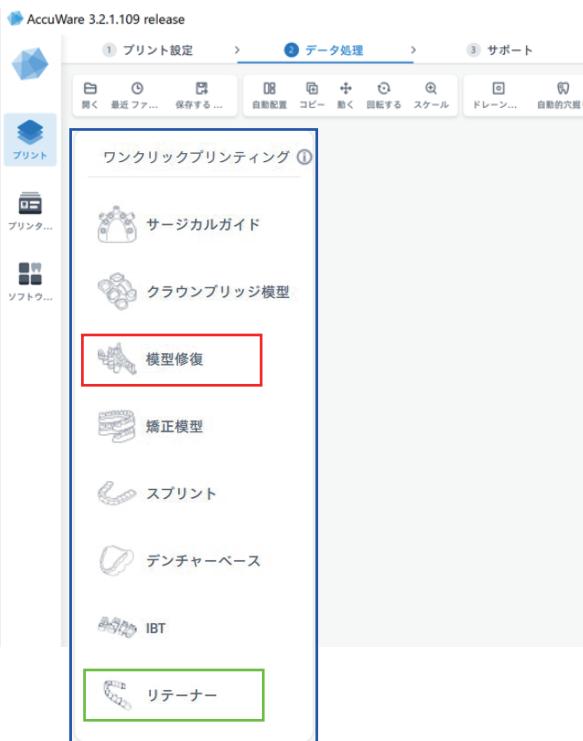


## ④ 自動設定 / サポート

### ワンクリックプリントとは

製作するタイプを選択するとそれぞれの特徴に合わせソフトウェアが自動で最適なデータを作成

- ①データの配置（方向、角度）
- ②サポート作成（太さ、間隔）
- ③スライス（プリンターへあわせたデータ変換）



#### 【模型修復】

中空ハニカム構造を選択  
中空でサポートを付与した場合  
はワンクリックを選択せず、  
サポートに進む



#### 【リテナー】

配置方法を選択  
任意の配置でサポートを行なう場合は、ワンクリックを  
選択せず、サポートに進む



## サポート作成

> ③ サポート >

**自動サポート**

**die support** (選択)

**一般的なサポート** ①

昇降高さ ① 0.70 mm

間隔 ① 0.90 mm

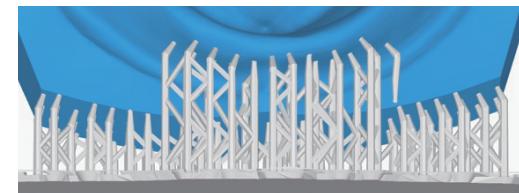
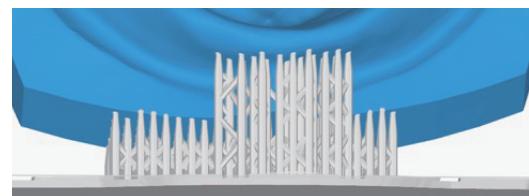
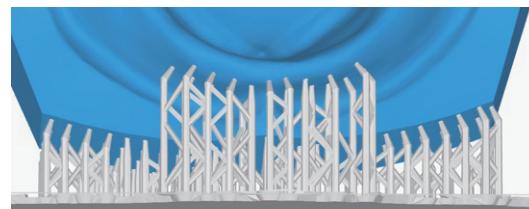
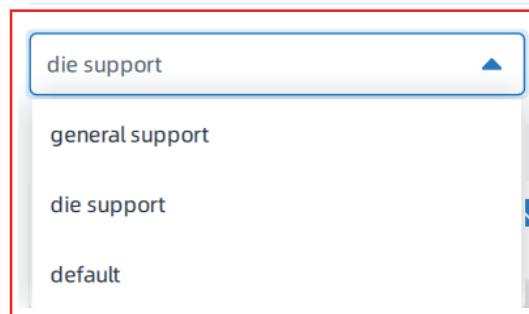
サポートを強化する ①

ベースタイプ 投影

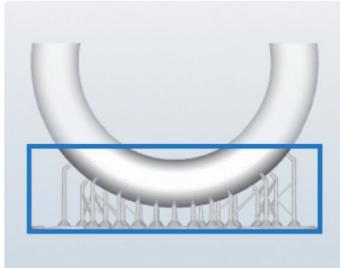
ベースの高さ ① 2.50 mm

ベースのみ ①

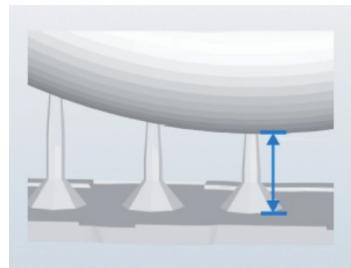
サポートクリア 生成



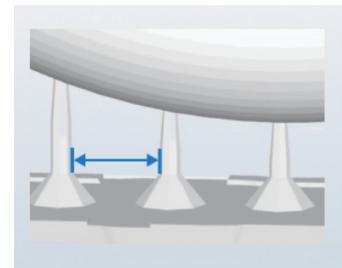
一般的なサポート



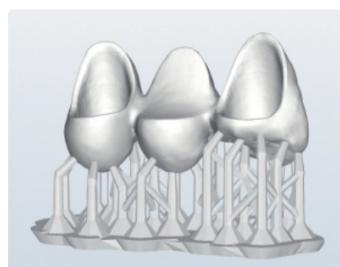
昇降高さ



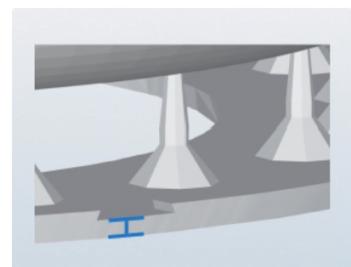
間隔



サポートを強化する



ベースの高さ

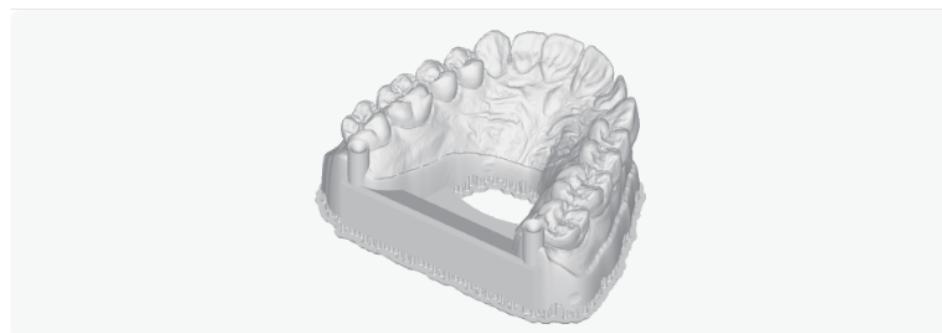


## ⑤ スライス

サポートの生成後、次へ進むと最終演算 / 確認へと進む

スライス最終画面

画像を生成する



[Shining3D]DM12 28.22 (ml) / 31.04 (g)

00:24:30



保存する

送信

プリント



最終ファイル：ファイル形式 AccuFab-F1・・・.slp3 AccuFab-CEL・・・.fab



使用するプリンターを表示



今回プリントに使用するレジン名と使用量 (ml / g)



今回のプリントにかかる目安時間



保存する場所

## ⑥ プリンターへのデータ移行

保存する

USB へ保存してプリンターにデータを取り込む

一度演算したデータは、AccuWare では開けないため、プリントする際は USB に演算済みデータを入れてプリンターに挿入し、データお読み込んでプリントする必要がある

送信

プリンターの設定が曖昧なときにデータの転送のみを行い、プリンター側でスタートさせる

プリント

プリンターの設定が終わっているときにデータ転送、プリントが自動で開始する